

足摺半島 佐田山保護林

かつて、縄文時代より唐人跡場も含め、足摺半島は人々が豊かに暮らしていたところ。照葉樹林の木陰から当時の世界を想像するのもおもしろい。

また、戦国時代、長曾我部氏に逆れた一條公の財宝が隠されている可能性も指摘する人々の噂もある。

白皇山頂には石鎚神社の祠。祠の建つ岩は修験道の護摩壇の跡。祠の裏に回ると大きな岩があり、断崖の上から見事な眺望が開けている。

石鎚神社
毎年7月に山頂でおまつりが開かれている。

修験の里
山伏が活躍した場所。

照葉樹林

白皇権現そのもの。ご神体といわれる。

白皇寺跡(ヤシキドコ)
かつて金剛福寺の奥の院であった。明治の神仏分離令により廃寺。白皇神社となり、白山神社に合祀され、山を下った。

白山白皇神社の祭
年3回。旧暦の1月15日、5月15日、9月15日に行なわれている。祭日を変更したら災いが起こるとされる(災が起る)。

旧の15日は月が丸く白く光るため魚もエサをくわす。漁が盛んな白月の頃と呼ばれた。

山頂はまさに「ワースポット」のひとった。

人が種んだような巨石が群れている。

巨岩がいたるところにある。巨石文明!! 白皇山ヒラミッド!!

大名や(バシヨウチク)節のせい珍しいヤ。タケノコは美味。草むしり屋根ふく。最適だった。

保護林入口④

石鎚神社の鳥居をくぐる。参拝して森の世界へおじゃまさせてもらう。あはれ、いから足を踏み入れよう。

巨大スダジイ純林

古道の跡

歩道はイナシに掘り返されている。

照葉樹林の天然林

足摺半島のどまん中。昼なお暗い常緑の森。ここは年々通じて常緑に光る葉をもつシイ、カシ、タブ、ツバキ、アズキなどの照葉樹林。つい最近まで西日本の大半はこのような常緑の森にあふれていた。縄文の昔より人々は、この森のほとり、神々の世界を感じていたのかもしれない。

佐田山保護林

佐田山保護林は、シイ天然林。学術参考と遺伝子保存の保護林に指定されている。面積10.98ha。シイ30%、カシ25%、その他40%。

航行目標、干害防衛、保健の3種類の保安林でもある。

足摺半島海国立公園。

四万十森林管理局が管理。

道案内

入口④～白皇山頂 約40分
"～スダジイ分岐④ 50分

※足摺スカイライン入口より約8km

足摺山へ

ヤッコソウ自生地

ヤッコソウ。大名行列の奴に似ていることから牧野富太郎博士が命名。スダジイやツバキの根に寄生して大群落をつくる。花は晩秋～11月頃。白色。りんぺんが十字に對生している。花にたくさん蜜があって、メジロなど小鳥が集まってくる。甘い。



足摺半島



ヤッコソウ②
高知県で見つかった。雄しべの帽子が落ちて雌しべがあらわれる。世界最大の花「ラフレシア」の仲間でもある。保護のふ内は立入厳禁。

シイの根に寄生しているのだから栽培はまったく不可能。